

製品名: GLUL マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82509**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	GLUL
別名	GS; GLNS; PIG43; PIG59
遺伝子 ID	2752.0
SwissProt ID	P15104
免疫原	大腸菌で発現したヒト GLUL (AA: 2-121) の精製された組み換え断片。

背景

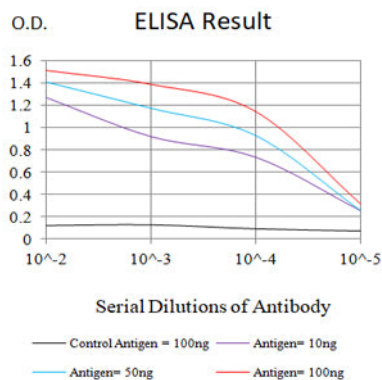
この遺伝子によってコードされるタンパク質はグルタミン合成酵素ファミリーに属し、ATP 依存性反応においてグルタミン酸とアンモニアからグルタミンを合成する触媒作用を担います。このタンパク質は、アンモニアおよびグルタミン酸の解毒、酸塩基恒常性、

細胞シグナル伝達、および細胞増殖において重要な役割を果たします。グルタミンは豊富なアミノ酸であり、いくつかのアミノ酸、ピリミジン、プリン、の生合成に重要です。この遺伝子の変異は先天性グルタミン欠乏症と関連しており、一部の原発性肝癌検体ではこの遺伝子の過剰発現が観察されています。この遺伝子には、2番、5番、9番、11番、および12番染色体に6つの偽遺伝子が存在します。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。

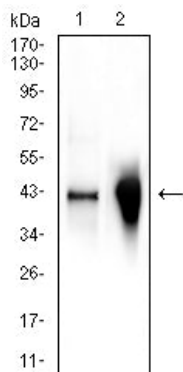
研究分野

-

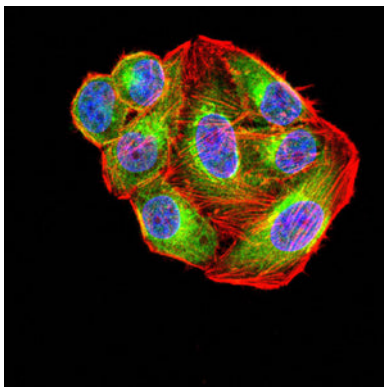
画像データ



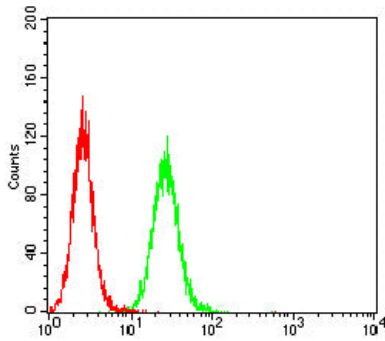
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



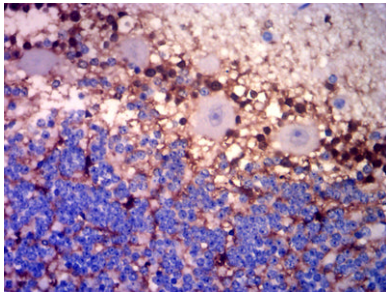
Jurkat (1)に対する GLUL マウス mAb とマウス肝臓(2)細胞溶解物を用いたウエスタンブロット分析。



GLUL マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



GLUL マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



GLUL マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト小脳組織の免疫組織化学分析。